

## 1. 解説編

平成14年度の電源・配電設備総合の1需要家当たり停電状況を第1-1表、需要家停電回数および、停電時間の推移を各々第1-1図、第1-2図に示す。

前年度に比べて、事故停電は、台風の影響により停電時間が増加している。また、作業停電は、停電回数・時間ともに横ばいである。

### (1) 事故停電

停電回数(0.12回)は、前年度(0.11回)とほぼ同値であるが、停電時間(13分)は前年度(6分)より増加している。

電圧別に前年度と比べると、電源側、高圧側ともに停電回数はほぼ同値であったが、停電時間については、高圧側で増加している。

事故停電は、経年的には災害の影響を除けば、設備の強化や台風対策、耐雷対策等の効果により停電回数・時間とも減少傾向にあったが、平成14年度は、台風の通過による影響(道路不通による復旧の遅れ他)を受け、停電時間が増加している。

### (2) 作業停電

停電回数(0.05回)は、前年度(0.05回)と同値、停電時間(5分)も、前年度(5分)と同値であり横ばいである。

電圧別に前年度と比べても、特に差異は見られない。

作業停電は、従来は年間工事量の多寡の影響を受けていたが、最近は無停電工法の導入・定着化等により、停電回数・時間ともに低い水準で推移している。